

入学者選抜（冬期）における新型コロナウイルス感染症への対応について

先端学術院先端学術専攻日本歴史研究コースの博士後期課程の入学者選抜（冬期）について、以下のとおり、募集要項の記載を変更します。

	募集要項	変更箇所
出願書類等		
選抜の方法等	<p>入学出願者の選抜は、第一次選抜（書類選考、修士論文等の審査）と第二次選抜（面接）により行います。</p> <p>【第一次選抜】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 書類選考 志望研究内容等、その他研究科が提出を求めた資料について行います。 ・ 修士論文等の審査 修士の学位を有する者及び修士課程在学中の者については修士論文（ただし、その他の学術論文も評価の対象とすることができます。）を、また出願資格認定審査により出願資格が認められた者については刊行された論文または著作を審査します。 <p>【第二次選抜】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 面接 第二次選抜（面接）は、第一次選抜合格者についてのみ行 	<p>【第二次選抜】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 面接 第二次選抜（面接）は、第一次選抜合格者についてのみ行う

うものとして、第一次選抜の可否は面接日の3日前までに、入学願書に記載された連絡先に文書で個別に連絡します。

(なお、可否通知が面接日の3日前を過ぎても到着しない場合は、総合研究大学院大学 学務課 学生係まで問い合わせてください)。

面接は、主としては修士論文(修士論文のない者は発表した学術論文等またはこれまでにに行った研究の要旨)の内容及び志望研究内容について行います。

ものとして、第一次選抜の可否は面接日の3日前までに入学願書に記載された連絡先に文書で個別に連絡します。

(なお可否通知が面接日の3日前を過ぎても到着しない場合は、総合研究大学院大学 学務課 学生係まで問い合わせてください)。

面接は主として修士論文(修士論文のない者は発表した学術論文等またはこれまでにに行った研究の要旨)の内容及び志望研究内容について行います。決められた期間内に博士論文を執筆可能かどうか判断いたします。また、基礎学力を判定するために、こちらから提示する史料を読んでもらったりすることがあります。

面接方法は、対面またはオンラインとします。第一次選抜合格者にメールにて照会しますので、面接方法を選択し、指定の日時までに回答してください。

※オンラインにて面接試験を受ける場合、個室でzoomが使える環境が必要です。

オンライン面接に用いるデバイス・通信環境は受験生が準備してください。

推奨デバイス：ウェブカメラ付きPC、タブレット(スマートフォンは不可)。ヘッドセット(マイクロフォンとヘッドフォンが個別でも可能)。

受験環境：個室(自宅でも可)。第3者が同じ部屋に在室する場合は不正が疑われる行為があったものと判断します。また個室は、可能な限り雑音が入らないように静かな場所を選んでください。

面接試験当日、技術的問題が生じた場合は、再面接を行う可

		<p>可能性があります。</p> <p>不正（カンニング等）あるいは不正が疑われる行為（第3者が同席）があった場合は、入学が取り消される場合があります。</p> <p>受験生がオンライン面接を撮影、録音、録画することは禁止します。</p>
--	--	---